

舗装維持管理に ビッグデータ活用

オリコンサルら
NETIS登録

オリエンタルコンサルタンツとグループ会社のエイテック（東京都渋谷区、橋義規社長）の道路舗装管理を効率化する新技術が、国土交通省の新技術情報提供システム（NETIS）に登録された。「コネクティッドカー（一般車両）から取得したタイヤ回転速度データを利用し、舗装管理指標（IRI）を提供する技術」で、一般車両から得られるビッグデータを活用した道路舗装の効果的、効率的な維持管理手法として積極的に提案していく。

この技術は、コネクティッドカーが路面の凹凸を通過する際に発生するタイヤ回転速度データをセンサーで収集・

蓄積し、道路舗装面の変状をIRI値と相関のある「荒れ指標」として算出。維持修繕が必要な箇所（IRI診断区分Ⅱ以上）を抽出する。

これにより高価な路面性状測定車を使った詳細点検区間の大幅な絞り込みや、修繕工事の速やかな実施が可能とし、道路の安全性向上や調査費用の削減、点検から維持修繕工事実施までのリードタイム短縮、さらに路面性状の経年変化も把握できる。